

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:平成29年度】

(③駐車・駐輪施設)

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川大手門駐車場		担当課名	産業労働政策課	記入者職氏名	室長 石山東
区分		内容・説明					
施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川大手門駐車場条例					
	(2)施設設置目的	中心市街地における道路交通の円滑化を図るとともに、市民の利便性に資するため					
	(3)施設が有する設備、機能の概要	4層5段の自走式駐車場、全自動精算機(普通車等)による24時間営業 普通車等 201台、バス等大型車 6台					
	(4)施設建設年度	H6. 4. 3開業(掛川城開門にあわせて)					
	(5)耐震性能の有無	有					
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)						
	(7)指定管理者名	かけがわ街づくり株式会社					
	(8)指定期間	平成27年 4月 1日 から 平成30年 3月31日 まで					
	(9)債務負担行為設定の有無	☐ 設定あり ☒ 設定なし ※設定ありの場合、(期間 平成 年度～平成 年度) (限度額 千円)					
	(10)施設の管理運営形態	②利用料金制度					
	(11)自主事業の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
(12)その他事業の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。						
(13)事業報告書提出の有無	☒ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) ☐ 提出なし						
(14)利用者満足度調査等実施の有無	☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)						

区分			H27実績	H28実績	H29実績	H30当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	90,000	100,000	90,000		※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	96,608	87,108	91,556		
	内訳 (施設・設備ごと)	普通車等	95,200	85,669	90,374		
		バス等大型車	1,408	1,439	1,182		
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)		A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
			A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
			A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				

2 利用状況	(施設・設備ごと)		A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分			H27実績	H28実績	H29実績	H30当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		56	66	41			
	(3)運営日数		366	365	365	365		
	(4)運営人員	①正規職員					※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	2.0	2.0	2.0	2.0		

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H27決算額	H28決算額	H29決算額	H30当初予算額	備考
	①人件費					
	②印刷費					
	③通信費	146,834	154,420	150,974	160,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	867,917	522,857	339,505	105,000	
	⑤借上料	751,680	751,680	751,680	750,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等					
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	3,686,740	4,338,576	2,523,480	6,235,400	
	計	5,453,171	5,767,533	3,765,639	7,250,400	
	対前年度増減率		5.8	△ 34.7	92.5	
区分		H27決算額	H28決算額	H29決算額	H30当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	14,477,184	15,090,624	15,943,824	15,279,600	
	警備委託(24時間)	14,329,440	14,813,280	15,666,480	15,000,000	
	電気工作物保守点検委託	147,744	147,744	147,744	150,000	
	WEB配信サービス		129,600	129,600	129,600	
	②修繕費	0	216,761	28,701	300,000	
	③光熱水費	1,890,654	1,530,229	1,589,675	1,500,000	
	④燃料費					
	⑤清掃費	82,944	69,120	67,392	100,000	
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)					
	計	16,450,782	16,906,734	17,629,592	17,179,600	
	対前年度増減率		2.8	4.3	△ 2.6	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		21,903,953	22,674,267	21,395,231	24,430,000	

(4)合計のうち運営コストの割合	24.9	25.4	17.6	29.7	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	36,992,000	32,879,060	32,586,880		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	678.4	570.1	865.4		

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H27決算額	H28決算額	H29決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a)－b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H27決算額	H28決算額	H29決算額	備考
a) 施設利用料金収入	36,992,000	32,879,060	32,586,880	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a－トータルコスト)	15,088,047	10,204,793	11,191,649	
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H27決算額	H28決算額	H29決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a)－b)	0	0	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている	3	なし
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
A 一般乗用車の利用率(回転率)	1.20以上	1.23	3	
B バスの利用率(回転率)	0.65以上	0.54	2	
C 定期券販売数	600以上	726	3	
D 駐車場内の事故発生件数	3件未満	0	3	
E 苦情受付件数	3件未満	1	3	
F 施設の利用台数(台)	90,000台	91,556台	3	

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。	3	なし
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	使用期限が過ぎた消化器の取替を行う。 エレベーターについて、既存不適格の判定箇所があるため、是正措置を行う。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	3	なし
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいがないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	なし
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

31

／33

V その他自由意見

--